I-O DATA

セットアップガイド Mac OS 版

HDE-UJシリーズ

この度は、「HDE-UJシリーズ」(以下、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
Mac OS環境でご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

初期化します

ご注意

本製品は、出荷時状態では書き込みできません。必ず以下の手順で初期化をしてください。

! 一度初期化をすれば、次回以降ご使用の際には、初期化の必要はありません !

一度初期化をすれば、次回以降ご使用の際には、初期化は必要ありません。接続して、そのままお使いいただけます。

! 本製品以外のUSB機器をできるだけ取り外します !

初期化を行う際、本製品以外にUSB機器を接続している場合は、誤消去を防ぐため極力外しておくことを強くお奨めします。

! 初期化を行うとデータは消去されます !

大切なデータが保存されている場合は、必ずバックアップを行ってから初期化してください。

! コネクターの向きに注意 !

USBコネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USBケーブルやパソコンのUSBポートが破損する恐れがあります。

1 パソコンの電源スイッチをONにします。

まだ本製品は接続しないでください。

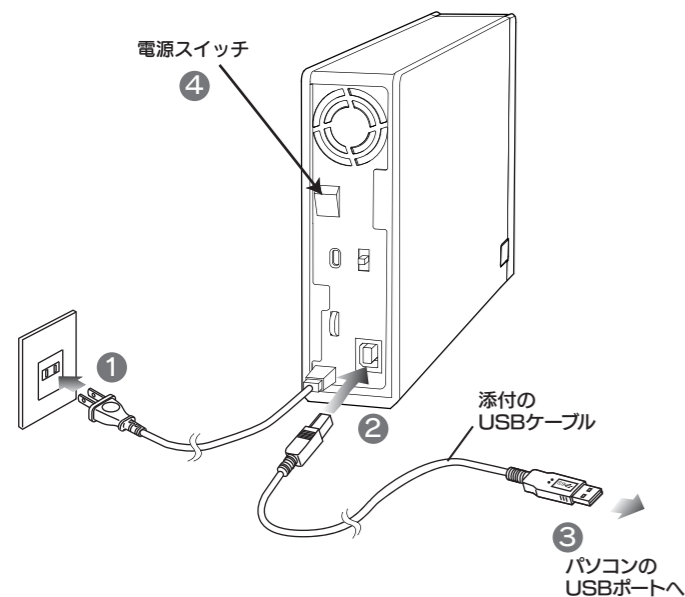
2 パソコンに接続します。

❶ 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。
❷ USBケーブルを本製品のUSBポートに接続します。
❸ USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。
❹ 本製品の電源スイッチをONにします。

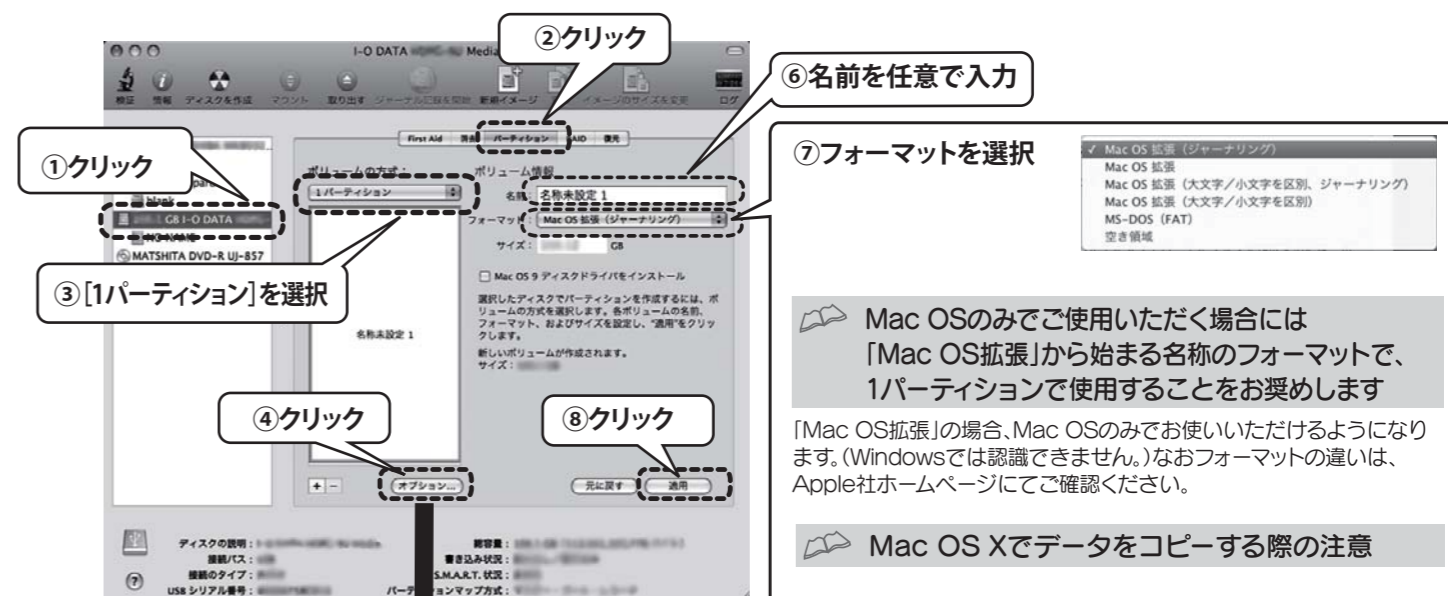
! Time Machine機能画面が表示された場合のご注意 !

本製品をパソコンに接続した際、Mac OSの仕様で、Time Machine機能の画面が表示されることがあります。[消去]をクリックすると、本製品のフォーマットが始まります。誤ってデータを消去しないようご注意ください。
※ Time Machine機能については、Apple社ホームページをご確認ください。

注意 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

3 メニューから[移動]→[ユーティリティ]→[ディスクユーティリティ]の順にクリックします。

4 本製品を選択し、初期化の設定を行い、[適用]ボタンをクリックします。

①本製品を選択します。
②[パーティション]タブをクリックします。
③[ボリュームの方式]で[1パーティション]を選択します。
④[オプション]ボタンをクリックします。
⑤[GUIDパーティションテーブル]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
⑥[名前]は任意で入力します。
⑦[フォーマット]を選択します。
⑧[適用]ボタンをクリックします。

⑦フォーマットを選択
- Mac OS 拡張（ジャーナリング）
- Mac OS 拡張
- Mac OS 拡張（大文字/小文字を区別、ジャーナリング）
- Mac OS 拡張（大文字/小文字を区別）
- MS-DOS（FAT）
- 空き領域

Mac OSのみでご使用いただく場合には「Mac OS拡張」から始まる名称のフォーマットで、1パーティションで使用することをお奨めします

「Mac OS拡張」の場合、Mac OSのみでお使いいただけるようになります。(Windowsでは認識できません。)なおフォーマットの違いは、Apple社ホームページにてご確認ください。

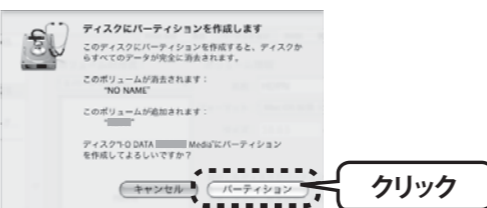
Mac OS Xでデータをコピーする際の注意

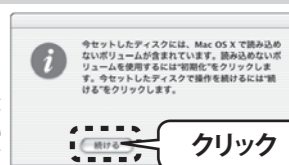
Mac OS Xでデータをコピーする際、コピー元とコピー先のハードディスクのフォーマットが異なると、エラーが発生する場合があります。その場合は、ファイル名(文字や文字数)を変えてください。

Mac OS 10.4.1以降とWindowsパソコンで併用される場合のご注意

FAT32フォーマットを行う事で共用することができます。
※FAT32フォーマットでご使用いただける1ファイルの最大サイズは4GBまでです。
※FAT32フォーマットの場合、Mac環境でマウントする場合に時間がかかることがあります。
※FAT32フォーマットを行う場合は、Windows環境で初期化してください。初期化手順は、画面で見るマニュアル(Windows版)をご覧ください。

5 [パーティション]ボタンをクリックします。

→ 初期化が始まります。

初期化後、以下の画面が表示される場合があります

[続ける]ボタンをクリックします。
この画面は、表示されてからしばらく経つと消えてしまいます。
本製品がパソコンに認識されなくなった場合は、パソコンに接続しているUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

6 画面左上の[]をクリックし、画面を閉じます。

▼

以上でフォーマットが完了しました。本製品にデータを書き込むことが可能です。

基本操作やデータのコピー方法について詳しくは本紙裏面をご覧下さい。

基本操作を覚えよう

接続手順を覚えよう

1 パソコンの電源スイッチをONにします。

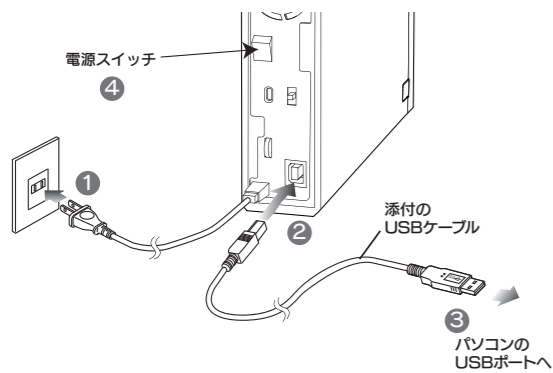
まだ本製品は接続しないでください。

2 パソコンに接続します。

❶ 本製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。

❷ USBケーブルを本製品のUSBポートに接続します。

❸ USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。

❹ 本製品の電源スイッチをONにします。

! コネクターの向きに注意 !

USBコネクターは接続できる向きが決まっています。接続しにくいときは無理せず、コネクターの向きをご確認ください。誤った向きで無理に接続しようとすると、USBケーブルやパソコンのUSBポートが破損する恐れがあります。

3 アイコンの追加を確認します。

以下のようにハードディスクのアイコンが増えていれば本製品を使用できます。
本製品の名称はフォーマット時に任意で入力したものになります。

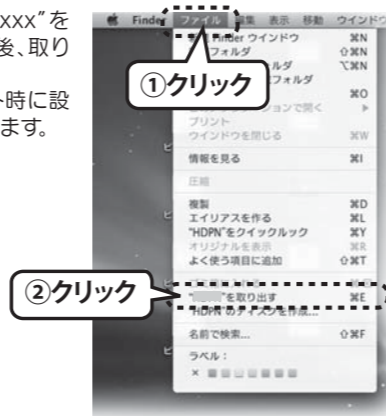
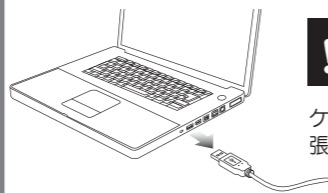
取り外し手順を覚えよう

※ ここではパソコン起動中に本製品を取り外す場合の手順を説明します。

1 本製品のアイコンをごみ箱に捨てます。

本製品の名称はフォーマット時に設定したものになります。

ファイルメニューからの取り外し手順

[ファイル]メニューより["xxx"を取り出す]をクリックした後、取り外すこともできます。
※ [xxx]にはフォーマット時に設定した本製品の名称が入ります。

2 本製品を取り外します。

! ケーブルはコネクターを持って抜きます !

ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らず、コネクターを持って抜いてください。

データをコピーしてみよう 初級者向け

> ⚠ 注意 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
> 故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

1 データの保存場所を開きます。

データの保存場所が不明な場合

ご使用のソフトメーカー様にデータの保管場所等についてご確認ください。

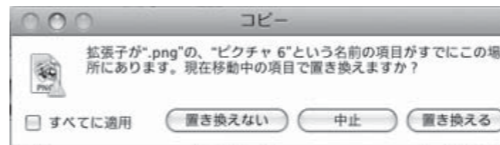
2 本製品(データのコピー先)を開きます。

本製品のアイコンをダブルクリックして開き、本製品内のデータのコピー先フォルダを開きます。

3 データをドラッグ&ドロップしてコピーします。

手順**1**と手順**2**で開いたウィンドウを画面上で並べ、[Option]キーを押しながらコピーしたいデータをドラッグ&ドロップします。

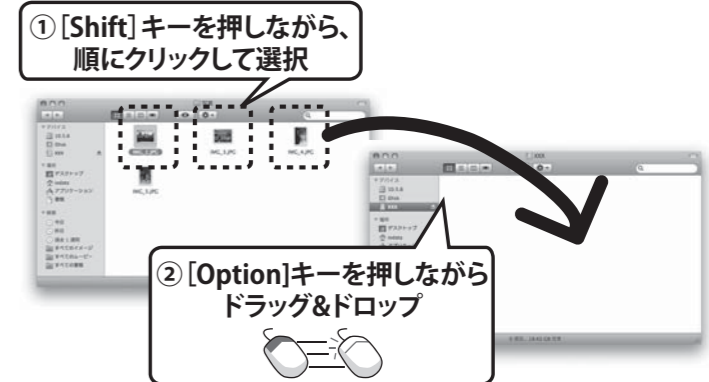
コピー先に同じ名前のデータがある場合(上書きコピーする場合)

コピー先に同じ名前のデータがある場合、ウィンドウが表示され、動作を選択します。

置き換えない ⇒自動でファイル名を変更し、データをコピーします。

中止 ⇒データはコピーされません。

置き換える ⇒上書きコピーします。

複数のデータを選択したい場合

①[Shift]キーを押しながらデータを順にクリックして選択します。
②[Option]キーを押しながら、ドラッグ&ドロップでコピーします。

こんなときには?

? 本製品のアイコンがない

以下の点をご確認ください。

- USBケーブルの接続を確認
- 接続するUSBポートを変えてみてください。ハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに直接、接続しなおしてください。

? 「取り外しできません」のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアを全て終了してから、取り外しを行って下さい。
それでも同じメッセージが表示された場合は、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

使用上のご注意

- スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどのパソコンの省電力機能はご利用いただけない場合があります。
- 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア(ワープロソフト、ゲームソフトなど)が正常に利用できない場合があります。
- 他にUSB機器がある場合、本製品の転送速度が遅くなることがあります。
- 本製品をUSBハブに接続してご利用いただけない場合があります。その場合はパソコンのUSBポートに直接接続してください。

本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ:http://www.iodata.jp/support/

2010.01.22